

- 問1 日本銀行が紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する役割を、何と呼びますか。最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 発券銀行
 2. 銀行の銀行
 3. 政府の銀行
 4. 市中銀行
- 問2 不景気の際、日本銀行は景気を上向かせるために、市中銀行が保有する国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やす政策を行います。このような日本銀行による金融政策の名称を何といいますか。（2018年 高知県公立入試 類似）
1. 預金準備率の引き上げ
 2. 買いオペレーション
 3. 売りオペレーション
 4. 所得再分配
- 問3 銀行などの金融機関と家計との関係において、家計が将来の備えなどのために銀行へお金を預けることを「預金」といいます。これに対し、家計が住宅の購入などのために銀行から資金を借り入れた際、借りた元の金額（元金）に、あらかじめ決められた利率に応じた利子を加えて、最終的に銀行へ支払う合計金額のことを何といいますか。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. 配当金
 2. 預金残高
 3. 返済総額
 4. 元金
- 問4 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由として、その具体的な業務の説明として適切なものを選んでください。（2023年 奈良県公立入試 類似）
1. 民間銀行が経営難に陥った際、その銀行の株主となって経営を完全に代行するため
 2. 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため
 3. 銀行の窓口で市民が預け入れた預金の全額を、日本銀行が常に保管しているため
 4. 国内のすべての銀行の支店配置や営業時間を決定する権限を持っているため
- 問5 企業が事業に必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関から融資を受けるのではなく、企業が株式や債券を発行し、家計などの投資家から直接資金を調達する方式を何といいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 信用創造
 2. 公開市場操作
 3. 直接金融
 4. 間接金融
- 問6 銀行は家計から集めた預金を、資金を必要とする企業などに貸し出すことで経済において重要な役割を果たしています。この活動を通じて銀行が収益を得る仕組みについて、その説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）
1. 預金者に支払う利子を出先から受け取る利子よりも高く設定し、預金残高を増やすことで収益とする。
 2. 日本銀行から供給される新紙幣の通貨発行益を、預金者に分配した後の残額を収益とする。
 3. 預金者に支払う利子よりも、貸出先から受け取る利子の方を高く設定し、その差額を収益とする。
 4. 貸出先から利子を受け取ることはせず、預金者から徴収する口座管理手数料のみを主な収益とする。
- 問7 日本銀行の役割の一つである「政府の銀行」としての業務の説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 国民から預金を集め、その資金を公共事業に直接投資する。
 2. 国が発行する国債の事務を行ったり、税金の受け入れを管理したりする。
 3. 国内で流通する紙幣を独占的に発行し、通貨の価値を安定させる。
 4. 民間の金融機関に対して、資金が不足した際に貸し出しを行う。
- 問8 家計や企業から「預金」として資金を集め、その資金を必要としている別の個人や企業に「貸し出し金」として提供するという、銀行が果たしている「仲立ち」の役割を何といいますか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
1. 直接金融
 2. 通貨発行権
 3. 金融仲介機能
 4. 支払準備金制度
- 問9 日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすために行っている業務として、最も適切な内容を選びなさい。（2020年 岡山県公立入試 類似）
1. 不況の際、国に代わって新しい公共事業を計画し、民間の建設会社に直接発注する。
 2. 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。
 3. 国債の売買を通じて市場の通貨量を調節し、物価の安定を図るための政策を決定する。
 4. 政府が運営する独立行政法人に対し、低利で運営資金を貸し付ける業務を独占的に行う。
- 問10 日本銀行の業務に関する説明として、民間の銀行（普通銀行）の業務とは異なる、中央銀行としての正しい役割はどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 企業の将来性を審査し、新しい事業を始めるための資金を直接融資する。
 2. 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。
 3. 企業間の不当な価格操作が行われないよう、市場を監視する。
 4. 個人の預金者に対して、預けられた金額に応じた利息を支払う。
- 問11 現代の経済における資金の供給ルートについて、家計が株式や社債を購入することで、証券市場を介して直接企業に資金が流れる仕組みを「直接金融」と呼びます。この「直接金融」で用いられる具体的な手段の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 普通預金・定期預金
 2. 保険料・年金
 3. 税金・補助金
 4. 株式・社債
- 問12 日本の金融システムにおける「間接金融」の説明として、資金の流れや特徴を正しく述べているものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 企業が株式や社債を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する。
 2. 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。
 3. 政府が税金を主な財源として、公共事業などの公共サービスを提供する。
 4. 日本銀行が景気調整のために、民間金融機関との間で国債などを売買する。
- 問13 現代の経済における企業の資金調達方法のうち、「直接金融」の説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 証券市場を通じて、企業が発行する株式や社債を投資家が購入することで、企業が直接資金を得る仕組み
 2. 日本銀行が市中銀行との間で国債などを売買し、世の中に出回る通貨の量を調整する仕組み
 3. 政府が国民から徴収した税金をもとに、道路や公園などの公共施設を整備する仕組み
 4. 銀行などの金融機関が家計から集めた預金を、資金を必要とする企業に対して融資する仕組み
- 問14 日本銀行の主な役割には「発券銀行」「銀行の銀行」「政府の銀行」の3つがありますが、このうち「銀行の銀行」としての機能について説明した文として正しいものを次から選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 景気が悪化した際に、民間の金融機関に資金を貸し出すことで、世の中に出回るお金の量を増やす。
 2. 国の公金を取り扱い、公共事業などに必要な資金を政府に対して貸し出す。
 3. 家計が銀行に預けた預金の一部を、日本銀行が直接預かって管理する。
 4. 新しく発行された日本銀行券を、直接各家庭や企業に配布して経済を活性化させる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 発券銀行	日本銀行は、紙幣（日本銀行券）を発行する唯一の機関であり、この役割は「発券銀行」と呼ばれます。また、国の公金を管理する「政府の銀行」、民間金融機関とお金をやり取りする「銀行の銀行」としての役割も持っています。
問2	答え 2 買いオペレーション	日本銀行が市場の通貨量を調節する「公開市場操作」の一つです。不景気のときには、日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行が貸し出しに回せるお金（通貨量）を増やし、金利を下げて企業の投資や消費を促そうとします。これに対し、景気が加熱しすぎた際に行われる、国債を売って通貨量を減らす操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問3	答え 3 返済総額	銀行から資金を借りる場合、借り手は借りた金額（元金）だけを返せばよいわけではありません。借りた期間や金額に応じた対価として「利子」が発生します。この利子と元金を合わせた全額が、銀行に支払うべき返済総額となります。入試では利子分のみを答えるミスが多いため、元金を含めた合計を指す言葉を正確に理解しておく必要があります。
問4	答え 2 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため	日本銀行は私たち一般の個人や企業とは取引を行わず、民間の銀行（市中銀行）などの金融機関を相手に取引を行います。具体的には、民間銀行に対して資金を貸し出したり、民間銀行が持っている余剰資金を日本銀行の当座預金として受け入れたりします。このため、銀行のための銀行という意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。この仕組みを利用して、景気の状態に応じて通貨の流通量を調節する金融政策が行われます。
問5	答え 3 直接金融	企業が証券市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。これに対し、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは間接金融と呼ばれ、日本の金融システムにおいて重要な役割を果たしてきました。直接金融では、資金を出す側が投資先を自ら選ぶという特徴があります。
問6	答え 3 預金者に支払う利子よりも、貸出先から受け取る利子の方を高く設定し、その差額を収益とする。	銀行は「金融仲介」の役割を担っており、家計などから預金として集めた資金を、企業や個人へ貸し出しています。この際、銀行が貸出先から受け取る利子（貸出金利）を、預金者に支払う利子（預金金利）よりも高く設定することで生じる「利ざや」が、銀行の主な収益源となります。これにより、銀行は組織を維持・運営するための経費や利益を確保しています。
問7	答え 2 国が発行する国債の事務を行ったり、税金の受け入れを管理したりする。	日本銀行には3つの大きな役割がありますが、そのうち「政府の銀行」とは、国（政府）のお金を扱う業務を指します。具体的には、政府の資金である税金の管理や、政府の借金にあたる「国債」の発行・支払事務などの窓口となります。紙幣の発行は「発券銀行」、民間銀行への貸し出しは「銀行の銀行」としての役割です。
問8	答え 3 金融仲介機能	銀行は、資金に余裕がある主体から預金を受け取り、資金を必要とする主体へ貸し出しを行うことで、経済活動を円滑に進める役割を担っています。このように資金の出し手と受け手の間に入って資金を融通することを、金融仲介機能と呼びます。これは、銀行などの金融機関が間に入る「間接金融」の代表的な形態です。
問9	答え 2 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。	日本銀行は国の預金口座を管理しており、税金の受け入れや、年金・公共事業費の支払いといった国の会計事務を代行しています。この、政府の資金（公金）を扱う役割を「政府の銀行」と呼びます。なお、国債の売買を通じて通貨量を調節するのは「金融政策」としての側面です。
問10	答え 2 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般の企業が直接口座を作って取引をすることはできません。日本銀行は民間の金融機関との間で資金をやり取りするため、「銀行の銀行」と呼ばれます。個人の預金に対する利息の支払いや一般企業への融資は、民間の普通銀行が行う業務です。また、価格操作の監視は公正取引委員会が担当しています。
問11	答え 4 株式・社債	直接金融は、企業が発行する有価証券を家計などが直接買い取ることで成立します。代表的なものに、出資の証券である「株式」や、企業が借入のために発行する債券である「社債」があります。一方で、預金を通じて銀行が企業に貸し付ける形態は間接金融に分類されます。
問12	答え 2 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。	間接金融は、銀行などの金融機関が「仲介者」として機能することが最大の特徴です。預金者は銀行に資金を預け、銀行はその資金をまとめて企業などに貸し出します。これに対し、企業が証券市場で株式などを発行して投資家から直接資金を得る仕組みは「直接金融」と呼ばれます。
問13	答え 1 証券市場を通じて、企業が発行する株式や社債を投資家が購入することで、企業が直接資金を得る仕組み	直接金融は、資金の出し手（投資家）と受け手（企業）が、銀行などを介さずに証券市場という場を通じて直接結びつくことが特徴です。選択肢にある銀行が預金を出す仕組みは「間接金融」、日本銀行が行うのは「公開市場操作（金融政策）」、政府が行うのは「財政政策」にあたります。
問14	答え 1 景気が悪化した際に、民間の金融機関に資金を貸し出すことで、世の中に出回るお金の量を増やす。	日本銀行は「銀行の銀行」として、民間金融機関と取引を行います。景気後退期には、民間金融機関に資金を貸し出すなどして、企業や個人にお金が回りやすくする金融政策を実施します。政府にお金を貸し出すのは「政府の銀行」としての役割であり、一般の家計や企業と直接取引をすることはありません。